

48<sup>th</sup>

令和3年度 9月特別号 [9月1日(発行)]

校訓 自主・協同・創造



# 岸川中だより

川口市立岸川中学校  
川口市安行領根岸374番地の1  
TEL268-4506 FAX268-4761  
特別支援学級 TEL268-7110  
さわやか相談室TEL268-4510  
<https://kishikawa.official.jp>

## せんぱーい!! (今の中学生は、パイセンと言っているようですが……)

～岸川つながりを考えるの巻～

校長 松田 隆幸

先輩・後輩と言えば、部活動が真っ先に思い浮かぶと思います。部活動の良さは、異なる年齢の生徒が集い、自分が選んだ、部としての活動を通して、技術の向上等の他に、人間関係を学ぶところにあると思います。家庭ではできない学びができる。今でこそ、昔のそれとは多少異なるものの、上下の関係を体験することも貴重な学びと考えます。しかし、今回は部活動の先輩・後輩関係ではなく、大学時代の先輩のお話。

私が教員生活のスタートを切った時、周りの諸先輩達には、自分が教えを頂いた当時の先生がまだ数多く現役で活躍していらっしゃいました。その後、校長となる年になった時、お世話になった先生方はご退職され、教えを頂くこともなかなか難しくなってきました。そんな中、同じ大学の先輩が、同じ中学校の校長として、市全体のリーダーとして現在も南中の校長先生として活躍されています。岸川中学校にお勤めの時は、体育科で、野球部顧問でありました。その先輩は、戸谷弘幸先輩（ココでは敢えて校長とは紹介しません）です。岸川中学校の野球部を、昭和62年には市大会で優勝、県大会では準優勝まで導くなど活躍された方です。大学では、戸谷先輩は体操、私は水球と、所属する部活動も異なりましたが、同じ教職の道へと進み、同じ川口で教鞭を執ることになりました。部が違っていても、同じ校歌を歌い、隣り合わせた体育館とプールで汗を流した関係です。たまに、水泳の合宿寮に来て、コーヒーをのんでいた戸谷先輩。お昼時に立ち寄った食堂や近所のスーパーも同じでした。「縁あって……。」大学という「共通の時間と地域が」が戸谷先輩と私の間にありました。

ただ、それだけなのに、同じ学舎だったと言うだけですが……この職に就いてから、特に、校長になってからは、お世話になりっぱなし。校長になりたての頃は、書類作成などで分からないことがあれば電話して、教えや資料を頂いたりしていました。今でも、困った時にはお電話しています。

コロナ禍で、なかなか人のつながりが難しいこの頃ですが、同じ校歌を歌った仲間は、永遠に先輩であり、後輩でもあります。この地域に住み、または、遠方に居を構えたとしても、岸川を通じての「縁」を大事にして、卒業生、そのご家族も含め、「岸川つながり」を多くの方々に、持ち続けてほしいと願うところです。

令和3年度の卒業生は卒業生番号9338番からとなります。

\*ここ数ヶ月 学校だよりは、2023年に創立50周年を迎える岸川中学校にゆかりのある方々と私の出会いや思い出を話題として、地域の皆様にご紹介するシリーズで書いています。

令和5年岸川中学校は創立50周年  
2023 Kishikawa.J.H.S 50<sup>th</sup> ANNIVERSARY